

令和 6 年度 第 1 回甲州市障害者自立支援協議会 【議事録】

日 時 令和 6 年 8 月 26 日（月）午後 1 時 30 分

場 所 甲州市役所 2 階第 1 会議室

出席者：14 人 欠席者：3 人 民生児童委員平山委員 知的障害者相談員鈴木委員
障害者相談員川口委員

次 第

1 開 会 進行：佐藤リーダー

市長の付属機関に属する協議会にて会議内容は公開
傍聴者はなし。

2 あいさつ

志村課長あいさつ

3 委員及び事務局職員紹介

欠席者以外紹介 職員自己紹介

4 会長あいさつ

三科会長あいさつ

5 議 事

（１）地域生活支援拠点事業について 内田説明

（２）令和 5 年度の実績報告について 大村説明

（３）その他

質疑：

① 石川委員（ともしび）

・地域生活支援拠点事業の説明にあった「相談」業務の点であるが、山梨市や
笛吹市は基幹相談支援センターがあるが、甲州市は「福祉あんしん相談センタ
ー」と資料にあるがそこが相談機能を担っているのか。

市：基幹相談支援センターの設置の関しては市も体制を整えていくことになっ
ている。本市の相談機能は相談支援担当が行っている。

② 飯室委員（ひまわり）

・地域生活支援拠点事業を当事者にどのように周知しているのか。

市：現状では、当事者を入れての体制にはなっていない。基幹相談支援センタ
ー設置後、必要な部会等を設置する等、他の自治体で行ってる内容などを研究
して本市としてのものを構築していきたい。

・障害児支援の面で放課後等デイサービスが計画を上回る利用増加で行き場

を探すのが難しいとのこと、地域でのインクルーシブな体制構築が困難になるのではと思うが、考えはいかがか。

市：インクルーシブを達成するのはなかなか困難なこと。しかし国が言う目標には近づけていけるよう努力していく必要がある。

- ・甲州市は保育料無償化を掲げたと聞いたが、就学前の児童発達支援を利用している児に対してどのような対応をするのか。

市：保護者がいったんお支払いしていただき、年度末に補助金対応として保護者に返金する形をとる。

6 その他

- ・本日は地域生活支援拠点の法人がお集まりいただいている。各法人の方で日頃から抱えている地域課題があったらご発言いただきたい。（進行より）

① 社会福祉協議会宮原会長

- ・身体障害者連絡会の委員の高齢化で会が解散となった。連絡協議会の執務事項を社協が対応している。

② 山の都福祉会逸村委員

- ・ワークコート A 型（大和）活動停止 物価高が理由 施設内の洗濯業務を事業として実施 A 型事業の運営は難しい
- ・A 型に対する地域の支援を考える必要あり。

③ ぶどうの里久保委員

- ・就労支援でコピットという事業所運営している。甲州市はセルフプランが多いという結果（R5 実績から）これは障害者の就労にかかわる問題である。勝沼授産園も運営しているが直接就労 B を求められる。就労移行支援が少ない。家族会も高齢化で親亡き後の取り組みで GH、短期入所報酬改定もあって難しい。

④ JOY 芦沢委員

- ・放デイに来所するのに学校が遠方で通所の手段が問題。
子どもからの通所に問題を抱えている場合成人になっての通所で交通手段もない場合、就労するにも困難が続く。
- ・災害時、福祉避難所への行き方 どのようにいくか
- ・小学校と福祉の連携は良いが保育園と幼稚園の連携が問題。甲州市はセルフプランが多いというがつなげていけることが困難になるのであまり良いことではないと思う。

⑤ ともしび石川委員

- ・人材確保困難 物価が上がってきているのも問題
B 型就労が増えている。工賃が高い所を選ぶ傾向 選ぶ基準になっている。

⑥ 視覚障害福祉会矢崎委員

- ・タクシー券の支給 600 円/一枚 他市は金額枚数増額 検討して欲しい。

⑦ 早乙女委員

- ・サポート体制 人材確保を求める

⑧ ひまわり飯室委員

- ・ 峡東圏域マネージャーが不在である現状に対し行政の動きについて伺いたい。

市：3市で県に要請はしているがなかなか現状では見つからない。引き続き県への要請は続けていく。

7 閉 会